



前期中間考査終了 高3進学課外Ⅱ期が始動

●高3進学課外Ⅱ期について

6月24日(水)から9月3日(木)まで、高3進学課外Ⅱ期が始まります。Ⅱ期は前期期末考査の前までの間に共通テスト対策や記述問題対策など、各教科・科目の教員が生徒の第一志望合格をサポートします。時程については以下の通りで、1コマ70分となります。高1・高2・中学生のみなさんも、高3のこの時期にある進学課外を受けている自分を想像しながら、黎明での貴重な日々を充実させてほしいと思います。

時程 授業日 ①16:15～17:25 ②17:35～18:45 ※設定なしの場合あり

土曜・夏休み ① 8:30～ 9:40 ② 9:50～11:00 ③11:10～12:20

(④13:10～14:20 ⑤14:30～15:40 ⑥15:50～17:00 ※設定なしの場合あり)

●高3進路comⅢ 進路別ガイダンス

6月12日(金)に高3進路別ガイダンスを実施しました。大学・専門学校志望者には、推薦・総合型での出願の方法やメリット・デメリット、合格までの流れや合格後の心構えなどを話しました。難関大学志望者は5月から指導が始まっていますが、ここからすべての大学・専門学校志望者への指導が始まります。短大志望者には宮城誠真短期大学の井坂副学長を招聘し、短大に関する説明をいただきました。公務員志望者には、東京法律専門学校の齋藤氏を招聘し、公務員試験対策セミナーを実施し、民間就職志望者には、企業研究の時間を設けました。進路別の指導を充実させ、多方面で活躍する黎明卒業生OB・OGを育てます。

●R9大学入学共通テストについて 高1・高2の生徒もアンテナを高く早めの準備を!

今年度の共通テストは令和9年1月16日(土)17日(日)に行われます。日程を掲載しますのでご覧ください。昨年度よりWeb出願となっております。出願の概要については、大学入試センターHPをご確認ください。出願に関する説明について、保護者の皆様につきましては過日の保護者進路説明会で行いましたが、生徒向けの説明会も進路comにて3回実施予定です。7月にマイページの作成が始まります。ご家庭でもご承知おきください。

1日目		2日目	
2科目受験 9:30～11:40 1科目受験 10:40～11:40	地理歴史 公民	2科目受験 9:30～11:40 1科目受験 10:40～11:40	理科
13:00～14:30	国語	13:00～14:10	数学①
15:20～16:40	外国語	15:00～16:10	数学②
17:20～18:20	リスニング	17:00～18:00	情報

●本校教員によるR8共テ分析

今回のキャリア通信から数回に渡って、本校教員による「共テ分析」を掲載します。高3だけでなく、高1・高2のみなさんも分析を読みつつ、既習部分の問題にチャレンジしてみてください。



★英語リーディング

共通テストの問題はToshin.comからの閲覧が便利です➡

分析・講評					
大問1	大問2	大問3	大問4	大問5	大問6
テキストメッセージを読んで答える形式。チラシと違って、文面に集中すればよいのだが、4人の意見とその違いを的確に読み取る必要があった。問2のイラスト自体は違いが明確なので、4人の意見を見落とさず踏まえて確実に得点したい。	大学主催の意識調査の結果を公表するウェブサイトが題材。意見は問うもの、書かれた内容(事実)を問うもの、など質問ごとに区別しながら対応しなければならぬ。問1は、調査内容ではなく調査の信ぴょう性についてのコメントが正解に結びつくものであり、注意が必要であった。	昨年と同じく、短めの物語文と、内容の進行に沿った問いで構成された、解きやすい問題であった。 Having a warm heart を being tender と読み替える程度の難易度。	ニュースレターの形式でエコ問題について読ませる出題。大きな変化が見られたのがこの大問4だった。 問1の、ポスター制作の目的を表す文(10不定詞によるまとまり)を補う問題と、問2の、活動手順を示す文をパッセージのどこに挿入するのが適切かを問う問題は、ともに新傾向。また、問3では選択肢の英文がやや長くなっており、文脈に頼らず読み取る速度も求められていた。	本文(チラシ、オンラインのエントリーフォーム、返信メール)と問いを横断的に読んで答えていく問題。複数の資料のうち、どの資料のどこに答えに結びつく要素が書かれているのか判断しながら読み進める力が必要。オンラインフォームの一つ一つはコンパクトで箇条書きの部分もあるが、情報が詰まっているので読み落としに注意。問3はブックフェアに推薦する本の書籍情報を応募条件と照合するもので、リスニング第4問Bと印象が重なり、うまく読めば答えは明白。問4は、元々の条件2つとメールの内容を手がかりに、採用されなかった書籍を特定するもので、難易度よりも読む量の負担が大きい。	おにぎり屋さんとの思い出を題材とした物語文。出来事を時系列に並べる問題では、一連の出来事を並べて最後にそれを思い出しているという順番になっている点にのみ注意すれば、答えやすい問題であった。長さはあるが、時間がかかるような問題ではない。
分析・講評			今後(次年度)に向けての対策		本校生徒へのメッセージ
大問7	大問8				
マインドワンダリングについての説明文を扱った出題。プレゼンテーション用のメモから、発表用のスライドへと形式が変わったほかは、本文と問いが並行して進むシンプルな構成であった。スライドの他に、本文の示唆と生徒の行動の照合問題(4枚のカードで示された4人分の事例を読んで正しい二つの組み合わせを選ぶというもの)があった。とにかく読む量が多いが、語句だけ拾って何とかしようとする早とちりの危険がある。示唆は複数あったので、どれと合致するのかも考える必要があった。	スポーツとテクノロジーについて読み、レポートにまとめていく形式で、昨年との大きな違いはなかった。5人の意見を読み、要点を捉えることが必須。5つともトピックに関する賛否を述べるものであるが、部分的に賛成や、良いところを認めながらの否定など、短い文でも油断せず確実に論点を理解することが大切である。問4で読む文はやや短くなったが問5の選択肢はやや長め。全体を見ると6ページにも渡るが、区切りごとにまとめながら先に進む構成であるため、取りこぼさず得点することは可能。		読む速さは絶対的に必要。単語、熟語、基本の文法、語法、構文など、普段の授業や課題で共通テスト攻略の土台を完成し、いつでもスピードアップできる準備を整えさせることが大切。 何にも頼らず「自力で読む」、読んだパッセージの「大事なところに気づく」、それを「だんだん速く読む」、それを行ったり戻ったりせず「1回読みで解ききる」など、徐々にハードルを上げていけるよう生徒を後押ししたい。 また、選択肢を読む力を軽視すべきではない。本文とは違って、文脈から類推して理解を補うことができないので、ひとつひとつの選択肢を確実に読み取って選択肢ごとの違いを明確にする必要がある。冒頭に述べたうち特に、語法や構文など、文法的な要素が身につけているかが試されることである。		英語をどんどん読み進めていく力をつけよう。基本的な知識・技能(語彙、語法、文法、構文)は教科書と授業、小テストや課題で身につけます、これを疎かにして別の方法に頼っても、結局は近道になりません。 共通テストは速さと正確さが成功のカギです。単語一つ思い出すのに何秒もかかるようでは、解ききるところか、理想の点数を取ることは不可能です。はじめはゆっくりでもよいが、夏前には時間を意識した読み方に切り替えていきましょう。得点を伸ばすには選択肢を正確に読み取ることが最終的には大事になってきます。構文や熟語が多用され、短い中にも難しさがあるの侮れません。問いや選択肢を先に読むことで、本文を何度も読み返すことなく解答に必要な情報を効率よく得られるでしょう。 一文をきれいに訳す必要はありません。「文の頭から、まとまりごとに意味を取りながら、一回で大きな意味がわかる」ことが目標です。この読み方のトレーニングとして、内容がわかる英文(教科書や問題集など)の音読を勧めます。

★英語リーディング

分析・講評				
大問 1	大問 2	大問 3	大問 4	大問 5
A: 1～2文の短い発話を聞き、内容に合う選択肢(英文)を答える問題。発話の内容を整理し、総合的に判断する力が問われる問題であった。 B: 1～2分の短い発話を聞き、内容にある選択肢(イラスト)を答える問題。時制や分詞の後置修飾など文の構造を的確に聞き取ることが求められる問題であった。	2往復程度の短い対話とそれについての質問を聞き、適切な選択肢(イラスト)を答える問題。時制やbefore, afterといった時の情報を正確に聞き取り、状況や場面の変化を把握することが重要な問題であった。	3往復程度の短い対話を聞き、問題文に記された質問に対する適切な選択肢(英文)を答える問題。限られた時間の中で、対話、質問、選択肢の内容を理解する必要がある問題であり、英語による情報処理の力が問われる問題であった。	A: 80～100語程度の説明を聞き日本語の指示に従って、イラストを時系列順に並べたり、与えられた表を完成させたりする問題。聞き取るポイントを的確に把握する力や説明中の単語を言い換え、与えられた選択肢と結びつける力が必要な問題であった。 B: 与えられた条件に合う自習の場所を選ぶために、4つの場所の情報を聞き取り情報を整理する問題。情報を比較して聞き取る力が求められた。	水産学に関する講義を聞き、内容に合う選択肢(英文や英単語)を答える問題。講義の内容はある程度の長さがあり、講義の内容とグラフの情報を合わせて正しい選択肢を回答する問題も含まれていた。長い説明の概要を把握することや、複数の情報を統合して選択肢を選ぶ力が問われる問題であった。
分析・講評		今後(次年度)に向けての対策		本校生徒へのメッセージ
大問 6				
A: 10往復程度の長めの対話を聞き、問題文に記された質問の回答として適切な選択肢を答える問題。 B: 複数人による会話を聞き、話者の意見や根拠とあるグラフを選択する問題。 A、Bいずれの問題でも、ある程度の長さがあるやり取りの概要を把握する力に加え、明示されていない情報を文脈から聞き取り、判断する力も問われる問題であった。		従来通り、早い段階から継続してリスニングの問題に触れていくことが大切である。情報量が多い会話が増えていることに加え、音声が一度しか流れない問題が増えているため、問題を先読みする力を身に付ける必要がある。選択肢の違い(数字・場所・理由・順序など)や問われている情報の内容(時間、意見、予定など)に注意して聞く前の準備を行うことで、ポイントを絞って情報を聞き取ることができるようになりたい。		聞き取った情報を直接的に問われる問題はほとんどなく、情報を整理したり、聞き取ったことを言い換えたりする力が求められています。必要な情報を得るためにポイントを絞って聞き取る力も大切になっていきます。すべての情報を聞き取るのではなく、キーワードだけ拾う、不要な情報は捨てる、聞かされた情報を即座に選択肢と照合するといった「判断すること」を意識して練習問題に取り組みましょう。リスニングの力を短期間で伸ばすことは非常に難しいことです。1日のなかで取り組む時間を決め、少しずつ継続することが重要です。

★数学Ⅰ A

分析・講評			
第1問	第2問	第3問	第4問
【1】集合と論理【やや難】 補集合や共通部分、条件を書いて表す集合についての正確な理解が必要である。8分程度で完答を目指す。 【2】図形と計量【難】 (1) sinを使った面積の公式を活用して、素早く解答したい。 (2) (i)円の接線の長さについてはしっかり理解しておきたい。求値問題で(1)を活用する問題。可能な限り完答を目指す。 (ii)前問(i)の議論を応用して、線分PQの下側に円をかいて求める問題。柔軟な思考力と解答時間が必要。解かず次へ行く判断を早く行い、解答時間を確保するのもよい。タイパの悪い問題である。 【解答目標時間: 20分】	【1】2次関数【やや難】 (1) 最大値・最小値の問題。素早く完答。 (2) 最大値・最小値や様々な条件から2次関数を決定する問題。2次関数が得意な生徒は完答を目指す。 (3) 定義域が動く場合の2次関数のグラフとx軸の共有点についての考察が必要。原理が分かれば素早く解答できる。 【2】データの分析【やや難】 (1) 散布図について正しく読み取れば難しくない。 (2) 相関係数について素早く求めたい。目標1分以内。 (3) (i)四分位数と外れ値から四分位範囲を求める問題。初見だと解答は難しい。 (ii)箱ひげ図が分散の小さい順に並んでいることを理解して考察できるかが勝負の分かれ目。長い文章の必要な部分を素早く拾い上げて解読する処理能力が重要。 【解答目標時間: 25分】	図形の性質【標準】 (1) 内心の性質・角の二等分線の性質・円周角の定理・方べきの定理について理解していれば難しくない。角の二等分線の性質は頻出のため確実に押さえて完答を目指したい。 (2) (i)メネラウスの定理を活用し素早く辺の比を求め、体積まで完答したい。 (ii)前問(i)の議論を応用して体積比を求められれば完答は難しい。 【解答目標時間: 12分】	場合の数と確率【標準】 (1) (i)2/3×2/3であることをすぐ見抜きたい。 (ii)どの確率とどの確率をかけるのか正確に把握しないと間違える。どこかを間違えると連鎖して間違ってしまう問題。難易度は高くないが、誤答が怖い。 (2) (i)3人の議論が答えられれば、それを応用して答えることは難しくない。 (ii)これまでの議論を発展させれば解答はできる範囲内ではある。しかし、時間が足りない。全体を通して時間との戦いである。 【解答目標時間: 13分】
今後(次年度)に向けての対策		本校生徒へのメッセージ	
第1問及び第2問が重く、時間もかかる。各設問の最後の問題はいったん飛ばして、時間があれば戻って解くということを徹底していないと、最後時間がなくなる。タイパを考えながら解答することは現役生にはかなりハードルが高いと感じた。第3問及び第4問は標準的な難易度である。ここまでにどれだけ時間を残しておけるかで、得点が大きく変わる印象。第1問及び第3問では、条件を変えると計算方法や議論がどのようにに変化するのか考えられる思考力が問われている。条件を変えるとどうなるか問題をたくさんこなし、素早く解答することによって解答時間を捻出す訓練が重要と感じた。すべての単元において教科書を丁寧に学習し、様々な事柄の定義や性質をしっかりと頭に入れて、基礎知識をおろそかにしないことが大切である。		教科書の定義をすべて頭にいてください。また、教科書傍用の問題集は高1・2年生のうちに2周以上して、どの問題でも見れば解く方針が思い浮かぶようにしておくことをオススメします。高3になると共通テストの演習に入ります。そこからは教科書傍用の問題集を学習する時間が限られてきます。遅くとも部活動引退までにはある程度解答を見ないで問題集を解けるようにし、共通テスト演習に向かいたいところです。 以下、2026年度共通テストで解けてほしい問題を挙げておきます。 第1問 第2問 第3問 第4問 アイウエオ アイウエオ アイウ アイウエオカ クケコソ カクケコ エオカ クケ シスセソ ソタ キクケコサン コサシセ	

★数学Ⅱ B C

分析・講評									
第1問	第2問	第3問	大問4		大問5				
図形と方程式【標準】 (1) 求値問題。素早く解答したい。 (2) (i)領域に点が含まれるかどうかを解答する問題。図示または代入法で確実に解答したい。 (ii)独立した問題。この問題のみで解けるが、似たような選択肢が並んでおり、難易度は高め。 (iii)円と領域について正しく理解できていれば解答可能。 【解答目標時間：10分】	三角関数【難】 (1) 和積の公式の導出過程に関する出題であった。教科書にある各定理の導出や証明について一通り確認しておくことが有利に働く。 (2) (和積の公式をきちんと利用できれば)難しくない。 (3) (i)(x+a)と(x+3a)に和積の公式を活用すればよいことに気づき、クケコは答えられる。 (ii)cosの方が負になることに気付かないといけないところが難易度が高い。スルーして時間を確保も選択肢に入れた。 【解答目標時間：15分】	微分・積分【標準】 (1) (i)微分して、極値を求める問題である。増減表がなくても3次関数の概形が分かるように訓練しておきたい。概形について理解していれば易しい。 (ii)定数項kの条件を変えたときのグラフの形状を答える問題。この出題方式が最近のトレンドである。 (iii)計算量は多くない。面積に関する基礎知識を頭に入れ、素早く正答にたどり着きたい。 (2) 題意を読み取り、なるべく素早く解答したい。 全体として、情報を素早く読み取り解答できる受験生に有利に働く問題であった。 【解答目標時間：15分】	数列【難】 (1) (i)階差数列の具体的な数値を求める問題。素早く解答したい。 (ii)階差数列の一般項を求める問題。確実に解答したい。 (2) 複雑な問題設定であるが、式変形と連立方程式で解ける問題。nをn+1にしたときにどうなるかはすぐわかるようにしておくべき。後半は階差数列の一般項の公式を変形する問題。慣れよう。 (3) (2)の考え方を活用して思考する問題。法則性が分かれば解答可能だが、時間との兼ね合いでスルーしてもよい。 【解答目標時間：15分】		確率統計【標準】 (1) 標準正規分布に従わせるための変数変換は頻出問題である。問題数をこなして、定着させたい。 (2) (i)期待値問題のときの平均と分散はよく覚えておきたい。 (ii)帰無仮説と対立仮説の問題についても、頻出である。確率統計は、教科書の内容をしっかり理解して、どの分野が出題されてもよいように準備しておくこと。 (3) 正規分布表の見方で混乱しないように、表と活用して答える問題はしっかり演習しておきたい。時間はかかるが完答可能である。この問題にどれだけ時間をかけるかを確認しておきたい。 【解答目標時間：15分】				
分析・講評		今後(次年度)に向けての対策	本校生徒へのメッセージ						
大問6	大問7								
ベクトル【標準】 今年度は平面ベクトルからの出題であった(前年度は空間ベクトル)。 (1) ベクトルの和と差の図形的な意味を捉えられていれば易しい。 (2) 始点を変えるベクトルの式変形は自由にできるようにしておきたい。 (3) (i)点の存在範囲に関する問題。教科書の例題レベル。しっかり理解しておきたい。 (ii)a、b、cに具体的な数値を2組程度代入すれば消去法で解答可能。 【解答目標時間：12分】	複素数平面【難】 今年度で2回目の出題率。昨年度易しめだった分、今年度は難化。 (1) 複素数の基本性質と式変形に関する基礎問題。素早く解答したい。 (2) (i)cosθ+isinθの形の扱いについて慣れている受験生にかなり有利な問題。 (ii)複素数平面における図形の問題は、実軸と虚軸の見方をしっかり理解できているかが問われる。 (iii)sin2θ+cos2θ=1を活用すればよいことに気づかれない。 (3) (i)式変形のみ。 (ii)難易度が高めの式変形と概形を選ぶ問題。スルーして時間確保も視野に入れたい。 【解答目標時間：15分】	各設問とも完答を目指すとして、圧倒的に時間が足りない。どこまで解くかを考えながら、またペース配分を気にしながら解き進める必要がある。また、数学ⅠA同様、数学ⅡBもリード文が長く、読解力や思考力、判断力がより必要になってきている。状況である。普段から、計算問題のみではなく、リード文の長い文章題も解く習慣をつける必要がある。また、問題が進んでいくと条件が変わっていき、その中で法則性を見いだして正答を導き出す問題が頻出である。条件を変えたときに、どのような変化が起こるか考える問題も多く演習する必要がある。	教科書の定義をすべて頭にいてください。また、教科書傍用の問題集は高1・2年生のうちに2周以上して、どの問題でも見れば解く方針が思い浮かぶようにしておくことをオススメします。高3になると共通テストの演習に入ります。そこからは教科書傍用の問題集を学習する時間が限られてきます。遅くとも部活動引退までにはある程度解答を見ないで問題集を解けるようにし、共通テスト演習に向かいたいところです。 以下、2026年度共通テストで解けてほしい問題を挙げておきます。 選択問題は、数列と複素数平面が難しいのである。 これにて61～62点で、全国平均を上回ることができそうです。 【以下選択問題 4問中3問解答】						
			第1問	第2問	第3問	第4問	第5問	第6問	第7問
			アイウエオ	アイウ	アイウエオ	アイウエオ	アイウエオ	アイウエオ	アイウエオカ
			カキクケ	エオカ	カキクケ	カキクケ	カキ	カキクケコ	クケ
			コサシ	クケ	タチツ	コサ			シ

各大学の最新の入試情報は『河合塾 Kei-Net』での確認が便利です。右の二次元コードよりご覧頂けます。大学ごとに入試の種類も多岐にわたります。小まめな確認をお願いします。

